



HI AKKO

全国知事会 国産材需要拡大への提言発表 政府に要請

新型コロナウイルスの感染拡大の影響が、今後の木材需要にどのような影響を及ぼすか現時点ではまだ不透明な状況です。こうした中、これまで以上に国産の木材需要の創出が求められる可能性が予想されるため、全国知事会は、「国産木材活用プロジェクトチーム会議」を、5月11日に開催し、「国産木材の需要拡大に向けた提言(案)」を発表しました。

同提言の中では重点事項として、①民間非住宅建築物の木造化・木質化の推進 (JAS 構造材の流通量拡大、CLT 等の普及、加工供給体制の強化)、②木塀の普及、③木材・木材製品の輸出拡大、④財源の確保、⑤建築士等の育成—の5つを挙げています。

さらに、①「民間非住宅建築物の木造化・木質化の推進や木塀の普及に取り組む民間事業者や地方公共団体に支援を実施する」、②「公共建築物の木造化・木質化を促進するために必要な予算を確保し、地域の実情に応じた新たな助成制度の創設など、地方公共団体等に支援の拡充を図る」、③「新型コロナウイルス感染症の感染防止のための新しい生活様式・日常の実践に貢献する各種製品・技術開発に支援を行う」という3点をポイントに挙げ、政府に要請するとしました。

●滋賀県ではびわ湖材活用●

同会議中では、国産木材の需要拡大に向けた各都道府県の取り組み事例も紹介されました。滋賀県では、「木の香る淡海(おうみ)の家推進事業」を実施しているようです。これは「びわ湖材」を使用した戸建て住宅等の新築、既存住宅の耐震改修、内装木質化に助成を行うもので、令和元年では126戸の新築住宅に助成を実施しました。この他各都道府県で様々な取り組みが実施されています。

今後さらに国産木材の需要拡大が期待されています。同提言は、こうしたニーズにこたえる一助になるといえるでしょう。

京町家の木製防火雨戸、京都市が大臣認定取得

京町家の意匠を保つため、京都市は木製で防火性能を向上させる「木製防火雨戸」を開発し、このほど大臣認定を取得しました。地方自治体による防火設備の大臣認定取得は全国初となります。今後は令和3年秋頃の運用開始を目指して、木製防火雨戸の製作のポイントや注意点をまとめたマニュアルを作成し、性能確保のための適切な施工のチェック体制の検討も進める予定です。

「木製防火雨戸」は産(京都府建築工業協同組合など)、官(京都市など)、学(早稲田大学など)が連携して開発したものとします。(一財)日本建築総合試験所(大阪府池田市)で行った燃焼試験では建築物の周囲で発生する通常の火災による火災を20分間遮断点が検証され、無事大臣認定を取得しました。

木製の建具が用いられていることの多い京町家の

外壁開口部は外からの火災に弱いケースが多いといえます。防火性能を向上させるにはアルミサッシや鋼製シャッターなど木製以外のものに改修する方法が挙げられるものの、歴史的建築物の意匠面から考慮すると厳しい向きもありました。こうした中、今回の取得によって京町家における既存の木製建具を活かしたまま、木材を活用した防火性能の向上につなげることが可能となりました。

主な仕様は①枠高さは2m以下、②枠幅は3.03m以下(1枚の戸幅は1.016m以下)、③鏡板の厚さは30mm以上(2枚戸又は3枚戸)——となっています。枠高さ、枠幅は最大で大臣認定を取得したため、同数値以下の大きさであれば活用が可能となっています。

京都市は防火地域や準防火地域内に一定の用途や、一定規模以下の建築物の外壁開口部の延焼が想定

される部分に設置できるため一般の京町家の大規模修繕で防火改修が必要になった場合などに「広く活用することが可能」としています。また、「木製防火雨戸」

の設置に係る支援策などについても「今後検討していく」と明らかにしました。

冷房と除湿を使い分け省エネへ

気象庁が公表した「令和3年の梅雨入りと梅雨明け（速報値）」によると、今年は沖縄県から東海地方にかけて平年差5～21日早い梅雨入りになったと報じています（5月26日現在）。住まい手が平年より早くエアコンを使い始めることを念頭に入れておく必要があります。

そんな中、パナソニック㈱（大阪府門真市）は、全国の20～60代の男女551名を対象にジャストシステム協力のもと「梅雨の冷房と除湿の使い分けに関する実態調査」をインターネット上で4月21～22日に実施しました。

ジメジメとする梅雨の時期にどのような方法で部屋の湿度を下げているかを聞いたところ、63.2%がエアコンを使用して湿気対策をしていました。その他には、窓を開けて風通しを良くするという回答が42.1%、扇風機を活用するという回答が28.9%という結果となりました。

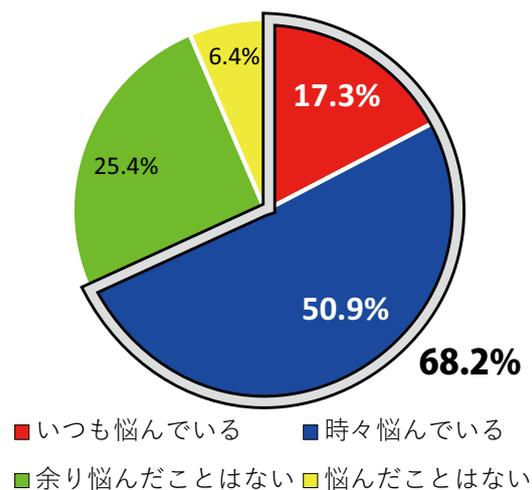
梅雨にエアコンの「冷房」と「除湿」を使い分けて湿気対策をしている住まい手の中でどちらの機能を使用するか悩んだ経験のある住まい手は68.2%にも上っています（図）。一方で全く悩んだことがない住まい手は6.4%に留まり、エアコンの使い分けについて多くの住まい手が悩んでいる現状が明らかになりました。

これについて同社は「直接風が当たるかどうかによって体感温度は変化する」と解説。その上で「特に湿度の増減は体感温度に大きく影響し、気温が高くて湿度が低ければ不快さは減り、気温が低くても湿度

が高いと寒さを感じにくくなる」と指摘しました。

外気温が30度に近づくと、住まい手は暑さを感じるようになり、家の中の室温も下がりにくくなる傾向にあります。そのような場合、同社は除湿ではなく、冷房を使って部屋を冷やすことを提案します。そして、冷房を使用して温度と湿度がある程度下がった際に除湿を使用することで省エネにつながるとしました。

ただし、あまり部屋を冷やしたくないという住まい手には除湿を使用するのもお勧めするといいます。除湿でも部屋の温度低下が気になる住まい手には再熱除湿が望ましいものの、長時間使用する際は電気代を考慮する必要があります。また、冷房と除湿どちらを使うか迷う場面では外気温の環境も考えてエアコンを運転させる「自動」モードの使用も適切といえるでしょう。



エコキュート年間出荷台数5年連続増加 食洗機も好調

脱炭素社会の実現に向けて、住宅においては「再生可能エネルギーである空気の熱」を利用する「エコキュート（家庭用ヒートポンプ給湯機）」の普及などが期待されている。エコキュートの年間1次エネルギー消費量は従来の給湯機より約28%の省エネになるともいわれています。

こうした中、2020年8月（一財）ヒートポンプ・蓄熱センターは「令和2年度ヒートポンプ普及見通し調査」の報告書を発表しました。同調査では、家庭用給湯機器別の国内出荷台数の推移を調べており、寒冷地の戸建住宅では石油給湯器の比率が高く、寒冷地の集合住宅や温暖地ではガス給湯器の比率が高くなっています。さらに、2000年以降は、温暖地

の戸建住宅を中心にヒートポンプ給湯機の比率が高まっていることがわかりました（図1）。

また、（一社）日本冷凍空調工業会によると、エコキュートの国内出荷台数は、2021年3月では5万8753台で過去の実績の中で最多でした。さらに2020年度では過去の実績の中で2番目に多い54万1台で、2015年度から5年連続で増加しています。なお2021年3月末で累計約745万台の出荷になりました。

長期エネルギー計画では2030年時の累計で1400万台を出荷することが目標になっていましたが、2030年の温室効果ガス排出削減目標が2013年比「26%減」から「46%減」に大幅に引き上げられたため、エコキュートにおいてもそれ以上の普及が期待されてい

ます。省エネ性が高いという特長を生かし、今後さらに普及を推進させていく必要があるといえるでしょう。

ZEHの住宅を考えた場合、太陽光発電（創エネルギーシステム）とエコキュート（給湯設備）は必須の要件になります。こうした中、2009年11月に開始した「太陽光発電の余剰電力買取制度」は、2019年11月以降順次10年間の期間が終了し、卒FIT世帯が増加して

おり、各事業者から売電単価について提示が始まりましたが、買電単価と比べて安価となることから、余剰電力の自家消費を増やすことが重要な選択肢となっています。

またエコキュートは、経済産業省が2010年度に実施した電力の安定供給の確保等を行う「電力負荷平準化対策」の中で、需要が少ない時期の電力需要を創出（ボトムアップ）するものと考えられたことから、支援されてきました。具体的には、昼間より電力需要が少ない夜間にヒートポンプでお湯を沸かし、昼間の給湯に使うことでボトムアップの効果が期待されていました。

こうした中、（一財）ヒートポンプ・蓄熱センターや株式会社環境計画研究所などで構成された「ヒートポンプ給湯機の有効活用検討会」は「卒FITに向けた余剰電力の自家消費におけるヒートポンプ給湯機の有用性の評価」の報告書の中で、エコキュートの昼間蓄熱（沸き上げ時刻7～15時）は夜間蓄熱（沸き上げ時刻23～7時）よりもCO₂排出量と1次エネルギー消費量が削減したデータを発表しました（図2）。

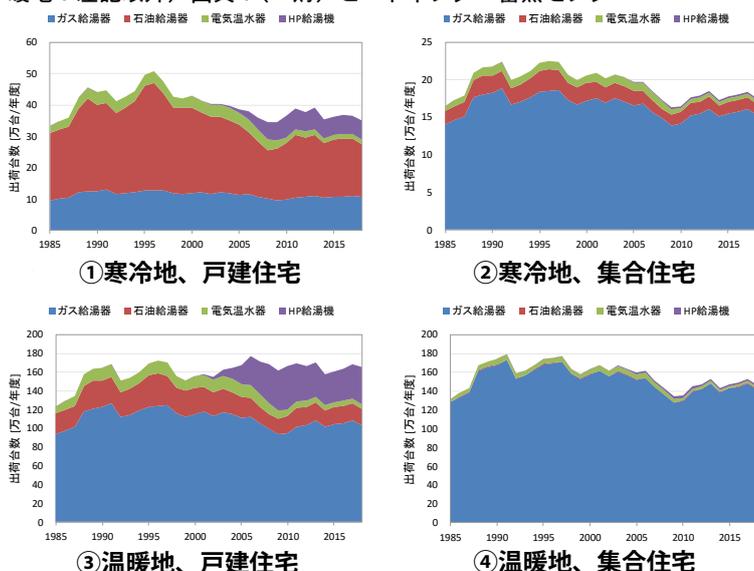
2019年11月に発表された同報告書では、主要要因として、エコキュートは外の気温が高ければ高いほど効率的にお湯を沸かすことができ、さらに一般的に家庭の給湯は夕方から夜に利用することが多いため、利用するまでの時間が短くなり、エネルギーロスが少なくなったことが考えられるとしています。

これらのことを踏まえ、エコキュートは昼間に太陽光で発電した電力で蓄熱することで太陽光発電の自家消費率を上げることができ、さらにCO₂排出量、1次エネルギー消費量を削減することがわかりました。

また、エコキュートのタンクに貯めたお湯は、災害時の生活用水に使用でき、370Lの貯水タンクであれば、家族4人の3日分になるともいわれています。住まいのレジリエンス性能向上の側面からも導入するメリットがあるといえるでしょう。

一方、東日本大震災で貯水タンク転倒のトラブルが多数発生したことから、大規模地震で給湯設備の転倒などによる被害を防止するため、国土交通省は「建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件」の法改正を2012年12月12日に実施しました。しかし、熊本地震では活かされず、被災地域の消費生活センターなどに多数相談が寄せられた事例が存在するので、施工者は正しい方法で設置することを心掛ける必要があります。

【図1】家庭用給湯器の出荷台数推移（寒冷地：北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・新潟県・富山県・石川県・福井県、温暖地：左記以外）出典：（一財）ヒートポンプ・蓄熱センター



【図2】上図：ケース設定 下図：世帯あたりの1次エネルギー消費量 出典：（一財）ヒートポンプ・蓄熱センター

| 名称 | 説明 | 住宅の熱源 | 蓄電池 | HP給湯機 |
|----------------|--------------------------------|--------|-------------------|---------------------------------|
| 売電ケース | PV余剰分は全て逆潮流する | 電気ガス併用 | なし | なし |
| 蓄電池ケース | PV余剰分を蓄電池自家消費する | 電気ガス併用 | あり (容量6kWh、10kWh) | なし |
| HP給湯ケース (夜間蓄熱) | PV余剰分は逆潮流する | 給湯電化 | なし | あり (毎日夜間蓄熱) ^{*2} |
| HP給湯ケース (最適制御) | PV余剰分の蓄熱と売電を最適制御 ^{*1} | 給湯電化 | なし | あり (昼間/夜間蓄熱) |
| HP給湯ケース (昼間蓄熱) | PV余剰分で蓄熱する。不足時は昼間系統電力で蓄熱 | 給湯電化 | なし | あり (天気に依らず毎日昼間蓄熱) ^{*2} |
| 参照ケース | PVなし | 電気ガス併用 | なし | なし |

注1) 各戸単位のローカル制御を仮定。需要家のエネルギーコスト最小化により時刻毎の蓄熱量を決定する。
 注2) 沸き上げ時間帯は、毎日夜間蓄熱の場合は23-7時、毎日昼間蓄熱の場合は7-15時とした。給湯負荷が多い日は湯切れ回避のために指定時間以外でも沸き上げる。



大規模地震等の災害はいつどこで起きるかはわかりません。そのため、起きる前の準備が大切になってきます。また、昨今よく耳にする脱炭素社会に向けての取り組みも、未来の環境のための準備だ。このように工務店の方々は、住宅を提案・施工する前の準備として「脱炭素」、「災害」についてお施主様と一緒に考える必要があるといえるでしょう。



パナソニック㈱の食器洗い乾燥機が好調です。業界では「前年比 160%の需要」という見方もあり、コロナ禍での巣ごもりが需要を押し上げたと推測されます。背景には外食が減り、宅食が増えたことによる家事負担の増加などが挙げられます。

食洗機の買い替えキャンペーンを実施している販売店などでは、食洗機を導入していないお客様への提案が有効となるでしょう。

Monthly HAKKO NEWS HEADLINE

2021年 全体で前年同月比 7.1%の増加
4月着工 持家は6カ月連続で増加

国土交通省が令和3年5月31日に公表した本年4月の新設住宅着工戸数は7万4521戸（前年同月比7.1%増）で2カ月連続の増加となった。持家は6カ月連続で増加、貸家は2カ月連続の増加、分譲は先月の増加から再びの減少となった。季節調整済年率換算値は88万2996戸（前月比0.3%増）で4カ月連続の増加となった。

利用関係別では、持家は2万2877戸（前年同月比8.8%増）で6カ月連続の増加。民間資金によるものも2万641戸（同10.2%増）で6カ月連続で増加し、公的資金によるものは3カ月連続の減少（同2.0%減）となった。

貸家は同13.6%増で2カ月連続の増加。民間資金による貸家は3カ月連続の増加となり、公的資金による貸家は同8.1%減で9カ月連続の減少となった。

分譲住宅は2万2483戸（同0.3%減）で先月の増加から再びの減少。マンションは2カ月連続の増加（同0.5%増）で、一戸建は17カ月連続の減少（同0.6%減）となった。

構造別では木造が4万1056戸（同5.7%増）で先月の減少

から再びの増加。工法別では軸組木造（在来工法）が3万2479戸（同7.1%増）で、4カ月連続で増加となった。

令和3年4月 新設住宅着工統計（▲は減少、無印は増加）

| | | 戸数 | 前月比 (%) | 前年同月比 (%) |
|----------|--------|--------|---------|-----------|
| 新設住宅合計 | | 74,521 | 3.8 | 7.1 |
| 利用関係別 | 持家 | 22,877 | 2.4 | 8.8 |
| | 貸家 | 28,825 | 5.8 | 13.6 |
| | 給与 | 336 | ▲ 11.1 | ▲ 45.3 |
| | 分譲 | 22,483 | 3.0 | ▲ 0.3 |
| 地域別 | 首都圏 | 24,473 | ▲ 6.8 | ▲ 3.3 |
| | 中部圏 | 9,124 | 9.4 | 1.6 |
| | 近畿圏 | 13,182 | 14.7 | 31.4 |
| | その他の地域 | 27,742 | 8.0 | 9.9 |
| 構造別・建て方別 | 木造 | 41,056 | 5.3 | 5.7 |
| | 一戸建 | 32,057 | 2.9 | 6.8 |
| | 非木造 | 33,456 | 2.1 | 8.9 |
| | 共同住宅 | 29,743 | 3.0 | 13.3 |
| 工法別 | 軸組木造 | 32,479 | 4.2 | 7.1 |
| | 在来非木造 | 26,193 | 3.9 | 13.6 |
| | プレハブ | 8,037 | ▲ 4.1 | ▲ 0.5 |
| | 2×4 | 7,803 | 11.0 | 1.1 |



粘着剤付抗ウイルスメラミンシート

メラタックウイルテクト

国土交通大臣認定 NW-4669

メラタックウイルテクトはメラミン化粧板に抗ウイルス・抗菌性能を付加した商品です。傷や汚れに強くメンテナンス性に優れたメラミン化粧板はいつまでもきれいに使用いただけます。



厚さ 0.55mmだから
加工が容易

厚さ0.55mmの薄型シート。カッターでも自由に加工できます。コーナー R もハサミで簡単調整



粘着剤付きだから
施工が容易

粘着剤付き。接着剤塗布の手間や、溶剤の臭いが解消されます。
※ プライマー塗布が必要です。



柔軟だから
曲面貼り可能

0.55mmの薄さならではの曲面施工も可能です。(常温 100R)



メラミンならではの
強さと質感

メラミン化粧板の優れた物性をそのままに、簡易施工性を実現しました。